

# 実力判定テスト10 第2回

## 解答・解説

### 解答

- |   |       |      |      |       |     |     |     |
|---|-------|------|------|-------|-----|-----|-----|
| 1 | 問1 ④  | 問2 ① | 問3 ④ |       |     |     |     |
| 2 | 1 ④   | 2 ②  | 3 ⑤  | 4 ①   | 5 ③ |     |     |
| 3 | 問1 ⑤  | 問2 ③ |      |       |     |     |     |
| 4 | 1 ④   | 2 ③  | 3 ②  | 4 ①   | 5 ② | 6 ③ | 7 ① |
|   | 8 ⑤   | 9 ③  | 10 ② |       |     |     |     |
| 5 | 1 A ウ | B エ  | C コ  | 2 A ア | B ケ | C ウ |     |
|   | 3 A オ | B エ  | C カ  | 4 A ケ | B キ | C ク |     |

### 解説

#### 1 (長文読解：英問英答、内容吟味)

(全訳) 英語を話す国出身の人には、ファーストネーム(名)と、たぶんミドルンネーム(中間名)と、そしてラストネーム(姓)がある。英語を話す国では、ラストネームはサーネームやファミリーネームとも呼ばれる。もしあなたが英語を話す国出身なら、生まれたときに最初の2つの名前をもらっただろうが、姓はもっとずっと昔だ。姓の起源についてはどうか、いつどこでどのようにしてそれは始まったのだろうか？ほとんどの英語の姓は900年以内に始まっている。それらは非常にさまざまな形で始まった。

ずっと昔、人々は、お互いに皆が知り合いの小さな村で暮らしていた。彼らは名だけで互いを呼べばよかつた。村が大きくなり小さな町になるにつれて、彼らを区別する方法を見つけることが必要になった。例えば、もし2人がマシューと言う名前だったら「森のそばのマシュー」とか「野原のマシュー」のように他の言葉を加えなければならなかつた。そうすればそれぞれのマシューがどこに住んでいるかわかった。時が経ち、こうした場所の言葉が姓になった。今日、ウッド(林)、フィールド(野原)、ヒル(丘)、フォレスト(森)、ブルックス(小川)、バンク(土手)、レーン(小道)、レイク(湖)はよくある英語の姓だ。

名が同じ2人を区別する別の方法は、その人の技能や仕事を加えることだった。例えば、町にいるアンドリューたちは、料理人のアンドリュー、羊飼いのアンドリュー、パン屋のアンドリューなどとなった。今日、これらはアンドリュー・クック、アンドリュー・シェパード、アンドリュー・ベーカーとなった。

姓の3つめの起源は、人々を父親の名前で呼ぶことだった。当時は男性社会だった。誰も(ア)母親の名前では呼ばれなかった。もし1つの村にジョンが3人いたら、彼らはリチャードの息子のジョン、ジャックの息子のジョン、ロバートの息子のジョンという名になった。これらは今日リチャードソン、ジャクソン、ロバーツォンになった。ほかにはジョ

ンソン、ウィルソン、ウィリアムソン、トムソンがある。

それに、姓を見れば、その人の外見や、どんな種類の人かがわかることもあった。ショート(背が低い)、ブラウン(茶色い)、ホワイト(白い)、ストロング(強い)、グッドマン(良い人)などがこのタイプである。

時代は変わった。昔は、姓が人々のあることを示していた。どこに住んでいるか、どんな仕事をしているか、父親が誰か、どんな外見かなど。(イ)今日、状況は異なっている。大都市に住むフィールドさんや、ショートさんという背の高い女性に会うこともある。

問1 「本文によると、英語を話す人は生まれたときに何を手に入れるか？」 ①「中間名」  
②「名と姓」 ③「中間名と姓」 ④「名と中間名」 第1段落第3文に「生まれたときにはじめの2つの名前をもらっただろう」とある。

問2 「(ア)に入れるのに最適な答えは？」 ①「彼または彼女の母親の名前」 ②「彼または彼女がどこに住んでいたか」 ③「彼または彼女が公の場で何を行ったか」  
④「彼または彼女がどんな学校を卒業したか」 直前に「父親の名で呼ばれた」「男社会だった」とあり、それに対照させて、「誰も(ア)で呼ばれなかった」とするには、①が最適。

問3 「下線部(イ)と同じでないのはどの例か？」 ①「都市に住んでいるウッド氏」  
②「いつも嘘をつくトルーマンさん」 ③「ストロングさんという名前の小さな痩せた女性」 ④「パンを作っているベイカー氏」 (イ)は、姓が人々の住む場所や外見を示さないこの例である。④以外はこの例に当てはまる。

Truman 「トルーマン」 = true 「真実の」 + man 「人」 baker 「パン職人」

#### 2 (長文読解：語句補充)

(全訳) バッキンガム宮殿は、イングランドのロンドンにある。バッキンガム宮殿は1705年に建てられた。イングランドのエリザベス女王がそこに住んでいることで有名だ。彼女は1952年に女王になった。

1 バッキンガム宮殿は大きくて美しい建物だ。宮殿には600室ある。宮殿には旗が掲揚される。女王がいるときは宮殿のてっぺんに旗が掲揚されているのだ。女王と彼女の家族は宮殿の3階に住んでいる。女王の執務室もある。女王はここで各国大統領や王や政治家に面会する。エリザベス女王はしばしば重要な人たちを夕食に招く。彼女はまた、夏に庭園でパーティを3回催す。1回のパーティに9000人招待するのだ！たくさんの人たちが彼女に会う。

2 バッキンガム宮殿は小さな町のようだ。警察署、病院、郵便局2つ、映画館、プール、スポーツクラブ2つ、庭園それに湖がある。約400人がそこで働いている。そのうち2人はとても珍しい仕事をしている。彼らは時計の世話をしている。バッキンガム宮殿には時計が300個あるのだ！

3 エリザベス女王の1日は朝7時に始まる。7人が彼女の世話をしている。ある人は彼女

- 7 「この都市で何が起きたのですか？」『交通事故です』  
答えの文で A traffic accident has とあるので〈完了・結果〉を表す現在完了にする。
- 8 「2006年の夏は日本に雨がたくさん降った」 rainは不可算名詞。much rainとする。
- 9 「英語を教えに日本に来て以来、千葉に住んで5年になる」 since ~で「～して以来、～してから」
- 10 「空気がきれいだと夜はたくさんの星が見える」「星が(私たちによって)見られる」という受動態。〈be 動詞+動詞の過去分詞〉の形とする。

**5** (語句整序: 不定詞, 関係代名詞, 分詞, 動名詞, 受動態)

- 1 Is there anyone who has no time to eat lunch? whoを関係代名詞として用いる。  
Is there anyone who …? で「(誰か) …な人はいますか」という意味。(have no time) to~で「～するための(時間がない)」を表す。
- 2 Can you see something black moving under the table? ~ thing で終わる名詞には修飾する形容詞は後ろに置く。something black で「何か黒いもの」となる。〈see + 名詞 + ~ ing〉「(名詞が) ～しているのを見る」
- 3 (We) are looking forward to seeing you and your family. be looking forward to ~ ing 「～するのを楽しみに待っている」
- 4 (I didn't) know what to say when I was asked to make a comment (on the problem.) 〈what + to 不定詞〉で「何をすべきか、何をしたらよいか」を表す。「～するように頼まれる」は、受動態を用いて〈be 動詞+過去分詞+to ~〉と表す。

のお風呂のしたくをし、別のは彼女の衣類の世話ををする。またある人は犬の世話をする。女王は犬が大好きだ。今現在、彼女は犬を8匹飼っている。毎日、ある男性が女王の部屋に犬の餌を持っていく。女王はそれを銀のスプーンで器に入れる。それから夫のフィリップ王子と朝食をとる。彼らは熱いミルクを入れた特別なコーヒーを飲む。

4 バッキンガム宮殿で夕食をとることはとても興味深い。人々は規則に従わなければならぬ。女王が最初に食べ始め、それから皆が食べるのだ。女王が食べ終わるとき、皆が食べ終わる。食事中は席をたってはならない。

人々は8月と9月にバッキンガム宮殿の部屋を訪れる。5 絵画のような、すばらしい見るべきものがある。エリザベス女王は世界で最も裕福な人の一人だということを忘れてはならない。

1~5 全訳下線部参照。

**3** (文整序)

問1 友だちとサッカーをしているところを想像してみなさい。

- (C) うっかりして、ボールをとても高く蹴り、高い木に引っかけてしまう。  
(A) 木に登ってボールを取るよう、友だちがあなたに言う。  
(B) 「言うは易しく行うは難し」とあなたは言う。このことわざは、行うようにと言うことの方が、行うことより簡単だという意味である。

問2 人々が冷蔵庫を持っていないとき、長期間、魚を新鮮に保てなかつた。3日後に腐り始めた。

- (B) 今日、「魚」を「客」に置き換えることができる。  
(A) あなたの家で1日か2日、客と過ごした後、彼らのことが嫌いになるだろう。  
(C) 3日後、客に腹を立てるようになるだろう。言い換えれば、家に友だちを招待したら、3日以上、彼らを泊めないようにしよう。

**4** (語句補充: 分詞, 動名詞, 付加疑問, 前置詞, 関係代名詞, 接続詞, 受動態)

- 1 「普段私は寝る前にラジオを聴く」 現在の習慣的な動作は現在形で表す。listen to ~ 「～を聴く」
- 2 「なぜ彼女は怒ったの?」 一般動詞の過去の疑問文。〈got + 形容詞〉で「～になる」。
- 3 「オーストラリアで話されている言葉は英語です」 過去分詞 spoken が前のlanguage を修飾している形。
- 4 「私はテレビ番組を見ることを楽しんだ」 enjoy ~ ing で「～することを楽しむ」
- 5 「トモコはそこに行かなかったよね?」 付加疑問文は、コンマの前が否定文の場合、肯定の付加疑問をつける。Tomoko didn't ~ とあるので did she? とする。
- 6 「私は書く(ための)紙がない」 I have no paper. I write on the paper. が不定詞により1文になったもの。paper to write on 「(その上に)書く(ための)紙」とする。